

技術審議会
長期維持管理技術委員会(平成26年度 第3回)
平成27年 3月30日

大規模修繕・更新の事業化について

■ 阪神高速道路の長期維持管理及び更新に関する技術検討委員会提言(H25.4.17)

構造上、維持管理上の問題点を有する構造物等について、構造物の損傷状況から大規模更新及び大規模修繕が必要な箇所を抽出



■ 国土幹線道路部会への報告(H25.4.26)

上記提言の内容について、会社から報告



■ 阪神高速道路の更新計画(概略)について公表(H26.1.24)

提言の内容をふまえて、最新の損傷状況等を改めて精査し、大規模更新もしくは大規模修繕を実施しなければ通行止めなどの可能性が高い箇所を、更新計画(概略)として検討し、その結果を公表



■ 国土幹線道路部会への報告(H26.2.7)

高速道路各社の更新計画(概略)の内容について、国土交通省より報告





■ 更新計画に係る詳細検討、精査

- ・本社技術部内に大規模修繕・更新技術推進室を設置
- ・学識経験者からなる「長期維持管理技術委員会」を設置し、計画の妥当性等について技術的見地から審議を行い、検討

▶ 長期維持管理技術委員会(第1回:H26.7.23)

▶ 長期維持管理技術委員会(第2回:H26.10.30)



■ 国土幹線道路部会での審議 (H27.1.15)

精査を行った更新計画の内容について国土幹線道路部会において審議



■ 高速道路機構との協定締結

■ 国土交通大臣からの事業許可

■ 機構の業務実施計画の大臣認可 (H27.3.25)

事業実施に係る法的手続きの実施

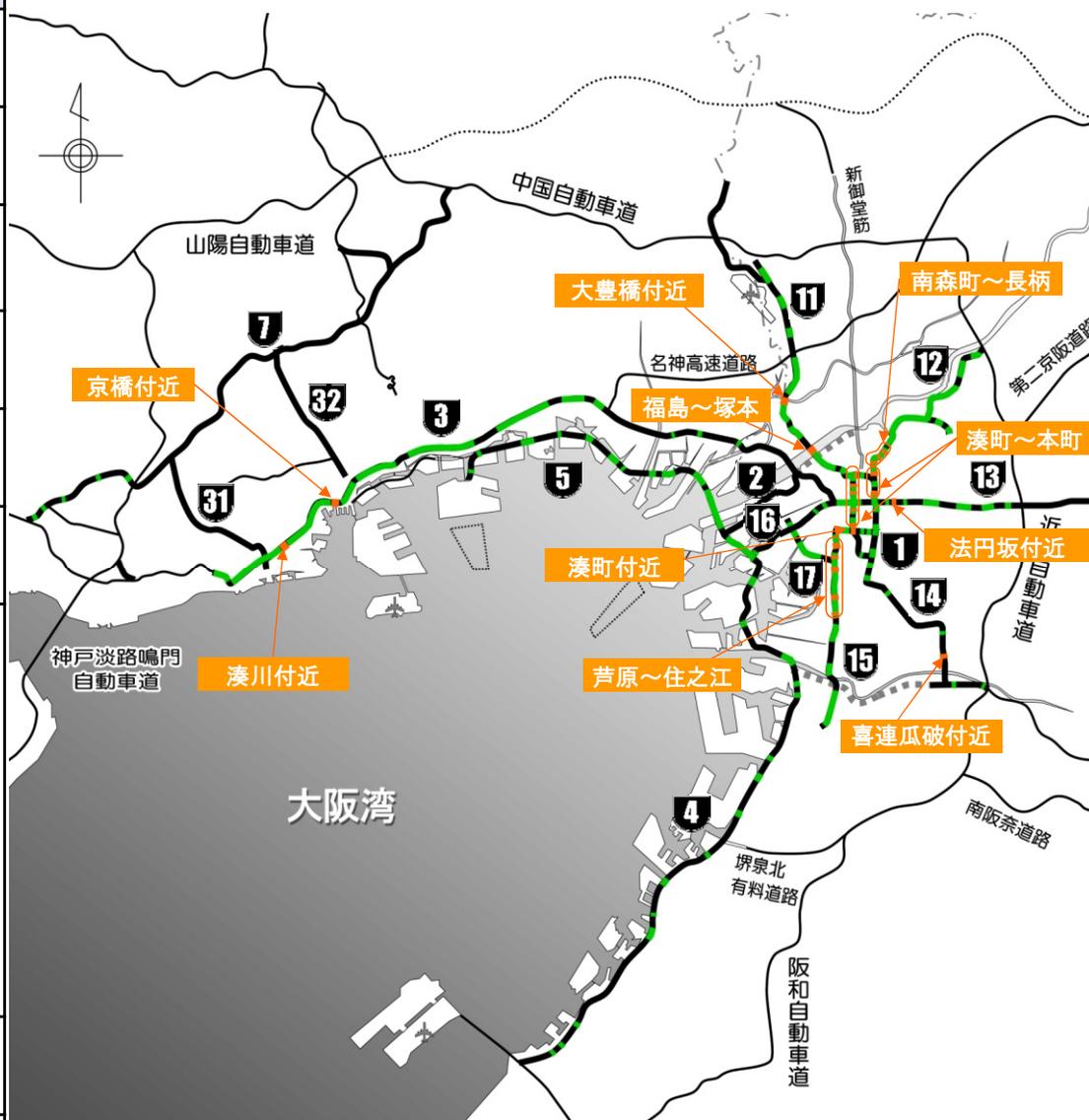
▶ 長期維持管理技術委員会(第3回:H27.3.30)



事業開始

阪神高速道路の更新計画

区分	路線	対象箇所	延長	開通年	事業費(税込)	事業年度
大規模更新	橋梁全体の架替	3号神戸線 京橋付近	0.3km	S41	249億円	H33~40
		14号松原線 きれうりわり喜連瓜破付近	0.2km	S55	238億円	H32~38
	橋梁の基礎取替	15号堺線 みなとまち湊町付近	(9基)	S47	191億円	H27~36
	橋梁の桁・床版取替	3号神戸線 みなとがわ湊川付近	0.4km	S43	162億円	H28~32
		11号池田線 おおとよばし大豊橋付近	0.3km	S42	126億円	H37~41
		13号東大阪線 ほうえんざか法円坂付近	0.2km	S53	56億円	H39~41
	橋梁の床版取替	1号環状線 みなとまち湊町～本町	0.6km	S39	488億円	H27~41
		11号池田線 福島～塚本	0.3km	S42		
		12号守口線 みなもりまち南森町ながら～長柄	0.5km	S43		
		15号堺線 あしはら芦原すみのえ～住之江	1.7km	S45		
小計			5km	-	1,509億円	-
大規模修繕	4号湾岸線、11号池田線ほか		57km	-	2,176億円	H27~41
合計			62km	-	3,685億円	-



■ : 大規模更新箇所(約5km)
■ : 大規模修繕箇所(約57km)

1. 日時 平成27年1月15日(木曜日)10:00~12:00
2. 出席者 寺島実郎部会長、天野真志委員、井伊重之委員、家田仁委員、石田東生委員、大串葉子委員、小幡純子委員、羽藤英二委員、山下淳委員
3. 主な議論
 - 構造物が50年や60年で老朽化して壊れる訳ではなく、生まれと育ちのどちらか、または両方という原因があるはず。松原線は昭和55年開通、東大阪線は昭和53年開通と経過年数が驚異的に短い。今回、利用者や周辺にどこまで我慢を強いるかということが大きな問題であり、その更新が必要となった原因を含め、事業の必要性、工程、迂回ルートの説明、その他含めて丁寧な説明をしていくことが重要。
 - 阪神高速の構造物が大阪の都市イメージを決めていく面もあることから、更新時にはデザイン的な工夫を行うべき。
 - 品質管理が重要。調達の時から考慮することが必要。
 - 更新計画にも、ICTファクターを盛り込むべき。
 - 雪や地震といったものに対する高速道路の耐久力に関して、もう少し科学的な基準、方向性のある整備が必要。たとえば寒冷地仕様などその地域にあわせた対応を考えて欲しい。
 - 過積載に対する科学的なデータを蓄積して、違反者に対して利用経路などのデータに基づき、その過積載に対してそれに応じた料金徴収することを道路局は考えて欲しい。

【参考】高速道路各社の更新計画の比較

			供用延長 (全体)	更新計画			備考
				大規模更新	大規模修繕	更新計画合計	
全国 路線網	NEXCO	延長	約20,000km (のべ延長)	237km	1,872km	2,109km (全体の約10%)	事業期間はH27 ～H41(15年間) 料金徴収期間を 10年延長(～ H72.6.24)
		費用	—	17,468億円	12,597億円	30,064億円	
	本四 高速	延長	約150km (のべ延長)	—	30km	30km (全体の約20%)	
		費用	—	—	247億円	247億円	
首都高速		延長	約300km (道路延長)	8km	55km	63km (全体の約20%)	事業期間はH26 ～H40(15年間) 料金徴収期間を 15年延長 (～H77.9.30)
		費用	—	3,775億円	2,487億円	6,252億円	
阪神高速		延長	約250km (道路延長)	5km	57km	62km (全体の約25%)	事業期間はH27 ～H41(15年間) 料金徴収期間を 12年延長 (～H74.9.18)
		費用	—	1,509億円	2,176億円	3,685億円	